

平成25年4月14日

江戸川区教育委員会  
委員長 松原秀成 殿

平成25年度子ども達の使用する区外施設の放射能汚染状況の調査を求める陳情

陳情者

連絡先

陳情の理由

1. 311フクイチの原発事故から2年以上過ぎましたが、関東圏までも汚染した放射性物質は消える事も無く、細心の注意を払っている流通食材でもセシウム汚染が発見されています。とくに江戸川区の抱える日光林間学校に付いては、フクイチ水蒸気爆発による福島市内内陸部に流れた汚染ラインの南端に位置していて、過去の施設付近の汚染状況を鑑みても、それを常識的に考えれば監視が必要であると言えるのではないのでしょうか？
2. 日光市では、幼保小中において除染計画に基いて除染が進められ日光市の子どもへの対応は進んだ反面、昨年秋頃を境に学校施設の計測が公表されなくなり逆に情報が減ってしまっています。
3. そして何よりも、日光林間学校施設内の計測では、昨年に行なわれた簡易個人線量計による安易な計測のままであるので、適正な機器による計測が必要であるべきです。

以上

